

甑島

11お魚料理 コンクールレシピ集

「11お魚料理コンクールレシピ集」から、薩摩川内市ホテル旅館組合長賞を受賞した「マグロのコロコロサラダ」を紹介します。



薩摩川内市
ホテル旅館
組合長賞

マグロのコロコロサラダ

- 作り方**
- ① マグロ、キュウリ、豆腐をサイコロ状に切る。
 - ② 大葉は洗って軸を取り、皿に盛っておく。
 - ③ ②に①を盛りつける。
 - ④ ③にいりゴマをふりかける。
 - ⑤ しょうゆダレをかける。

材料(4人分)

マグロ	120g
キュウリ	80g
絹ごし豆腐	120g
大葉	16枚
いりゴマ	小さじ1/2
濃厚しょうゆ	小さじ2/3
みりん	小さじ1/3
レモン汁	少々

審査員
から一言

簡単で、誰にでもすぐ出来るという点が良いです。「新鮮な甑島の魚の色を引き出すために、他の食材に気を使いました」という、工夫と優しい心遣いがされた作品です。



「未来へ語る歴史像」
大伴家持像



万葉集に登場する薩摩国司(墨画 せんだい歴史絵日記より)



園名石「万葉の散歩道」



万葉植物と万葉歌碑

歴史散策シリーズ

そこが知りたい!
第2回 万葉の散歩道

知っているようで知らない薩摩川内市に点在する文化財を
クローズアップ!!

川内歴史資料館西側にある豊橋から火扇橋までの銀杏木川沿い630mの間に「万葉の散歩道」があります。中郷町を流れる銀杏木川流域の歴史的背景を生かし、平成15年4月に完成しました。沿道には万葉集に歌われている植物、ヤマブキ、ハギ、タチバナなど四季を彩る15種の万葉植物が、川の上流に向かって、春の花から春夏秋冬に分けて植栽されています。それらの隣には、万葉植物を題材にした歌を刻んだ石碑(万葉歌碑)15基(高さ160cm)が配置されています。万葉歌碑には薩摩国にも関係する大伴家持や高氏海人などが詠んだ歌も刻まれています。それらの刻字については、市内の書家の方々の揮毫によるものです。*

※毛筆で文字を書くこと

また、一帯は薩摩国分寺跡・薩摩国府跡があった場所です。奈良時代の天平18年(764年)に、薩摩国などの国司(守)として任命された大伴家持は、万葉集の編者で36歌仙の一人でもあり、大隅国に征隼人將軍として出征した父旅人とともに優れた歌人としても知られています。薩摩国の守は、現在の鹿児島県知事にあたる仕事を担当していたと考えられます。

今回紹介した史跡位置図



散歩道内には、その内容を記した薩摩国府跡に関する説明板や大伴家持像(ブロンズ製)も設置されており、家持像の左手には木簡、右手には筆を持った姿で、訪れる人々を迎えています。多くの人に憩いの場として親しんでもらえるようにと願っているのかもしれない。また、散歩道の途中には、自然石のベンチを設けてあります。ゆったりとした気持ちで四季の花を楽しんでみてはいかがでしょうか。

なお、歌碑は市内の拓本愛好会の方々の拓本採拓に活用されています。また、散歩道は地域の方々に大切にされており、定期的に清掃活動が行われています。

今回は「久見崎軍港・船大工樗木家関係資料」を紹介します。

【問合せ先】=教育委員会文化課 ☎(23)5111(内線5231)